

公民連携窓口の更なる活用について

行政課題に対して民間との政策連携を！

埼玉県では「埼玉コラボレーションラウンジ※」を運用している。今後更に公民連携を推進する工夫が必要である。行政課題に対する公民連携を進める方策は。

この

※埼玉コラボレーションラウンジ
民間企業等から事業の発案や既存事業の改善提案などを広く募集し、行政課題を解決する機関。

受け入れ窓口を積極的に設ける

官民が意見を出し合い社会課題の解決に取り組むことが重要。昨年度は官民双方から148件の相談提案があり、官民連携事業を実施した。今後、これらに加え積極的に受付窓口を設け、連携の幅を広げていく。

企画財政部長

ChatGPT※の教育への影響及び活用について

ChatGPTの教育への影響、教職員の負担軽減など活用の在り方の方針を！

文部科学省では、国内外の事例を集め、専門家の意見も聞いた上で方針を示す方向である。埼玉県教育委員会としては教育への影響をどのようにとらえるか。市町村教育委員会への支援、特別支援学校での活用の在り方、教職員の負担軽減のための活用についてどのように考えるか。

この

※ChatGPT
高度なAI技術によって、人間のように自然な会話ができるAIチャットサービス

活用について研究していく

国のガイドラインや先行事例を参考にし、児童生徒の主体的、対話的で深い学びにつながるような活用方法を検討していく。特別支援学校においても活用の在り方を研究していく。今後、教育現場における様々な場面でのChatGPTなどの生成AIの活用を研究していく。

教育長

地元問題

JR埼京線北戸田駅へのホームドア設置を！

戸田市内3駅で人身事故が増加している。北戸田駅は新宿駅に次いで人身事故の全国ワースト2位、亡くなった人数で言えば全国ワースト1位である。県としても北戸田駅のホームドアの設置に後押しをしてほしい。

この

JR東日本に早期の整備をお願いした

JR東日本は県内の埼京線の各駅に令和13年度末頃までの整備を計画している。県では、本年3月に要望活動を行い早期の整備をお願いした。引き続き、ホームドアの早期整備を積極的に後押ししていく。

企画財政部長

笹目川排水機場の排水能力の向上！

令和4年9月定例会において「笹目川排水機場の排水能力向上」を訴えた。その後、ポンプ能力を毎秒30トンから50トンに対応できるよう具体的な検討に入ったと伺っている。現在の進捗状況と今後の見通しは。

この

基本設計を進め事業の推進に取り組む

ポンプの排水能力を高めることが必要と判断し、検討に着手している。令和5年度は、必要となる設備の規模や配置等を検討する基本設計を進めていく。その上で、具体的な事業手順や設備の構造などについて詳細設計等を行い、事業の推進に取り組んでいく。

県土整備部長

菖蒲川の治水対策を！

令和元年東日本台風で、菖蒲川が越水し多くの住宅等が浸水した。県では令和4年から堤防嵩上げ工事に着手しているが、嵩上げ事業の進捗状況と今後の見通しは。

この

早期完成に向けて事業を推進

荒川合流点から曲尺手橋までの1,800m区間の嵩上げを下流から順次実施しており、現在の進捗率は31%。令和5年度は菖蒲橋までの400m区間の工事を進めていく。早期完成に向けて事業を推進していく。

県土整備部長

皆様のご意見を募集しています！

皆さんからの声が活動の原動力です。県政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。一つひとつの声を大切にフットワーク軽く対応してまいります。

無所属県民会議 戸田支部 このの桃子

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL & FAX: 048-235-5358
ホームページ <https://konnomomoko.com/>
メールアドレス info@konnomomoko.com

ホームページはこちら

傍聴に来てくださった皆さんと

実現！

透明の板を使用した嵩上げが順次進行中！

前進！

BEFORE AFTER

菖蒲川の堤防

議論資料

埼玉県のホームページに主な取組や課題解決のヒントが掲載されました！

実現！

令和5年6月定例会 一般質問特大号

埼玉県議会議員 無所属県民会議 **このの桃子**

ご挨拶

2期目が始まり、最初の議会である6月定例会で3回目の一般質問に登壇させていただきました。知事が「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行ったり、産後健診事業が全市町村で実施されるようになったり、内水ポンプの運用ルールの全県の見直しがされたり、大きく前進しました。今回実現できなかったものも含めて、引き続き全力で政策を進めて参ります。

このの桃子プロフィール

【経歴】 昭和58年3月2日生、新曽小学校、頤栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学大学院法務研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員(2期)、埼玉県議会議員(戸田市初の女性県議、歴代最多得票2期目当選)、2児の母

【資格等】 保育士、防災士、全国手話検定1級、書道師範、FP3級

異次元の少子化対策について

「こどもまんなか宣言」をして埼玉県全体で取り組みを！

「こどもまんなか応援サポーター※」として、「こどもまんなか宣言」をしてはいかがか。都道府県レベルでは、熊本県、滋賀県、愛媛県等が宣言し、活動を始めている。こどもを守る政策を最優先に取り組む「こどもまんなか埼玉」として、イベントの開催や県内市町村や企業との連携など、県全体で取り組むお考えはないか。

この

近々宣言を行い積極的に取り組む

「こどもまんなか社会」の趣旨に大賛成であり宣言についても近々行いたい。官民連携で「たのしい子育て」を情報発信する「SAITAMA子育て応援フェスタ」を開催し「こどもまんなか社会」に県全体で積極的に取り組んでいく。

知事

一般質問後埼玉テレビのニュースに取り上げられました！

「こどもまんなか応援サポーター」
こども家庭庁が先月から募集
これまでに熊本県や滋賀県などが就任を宣言

実現！

6/30 大野知事が「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行いました！

#こどもまんなかやってみた

就任したトシ！
就任したトシ☆

第2子保育料無償化を！

東京都では第2子保育料を所得制限なしの無償化にする予定。県としても第2子保育料無償化を始め、異次元の少子化対策を進めるべきだと考えるが、知事のお考えは。

この

第2子保育料無償化は国に対し要望を行っている子どもを安心して生み育てられる社会づくりに取り組む

本来、国が全国統一的に対応すべきで自治体間の競争ではないと考え、国に対し要望を行なっている。孤立した子育てを防ぐため「コバトンベビーギフト」事業を開始し、市町村と子育て世帯をつなぎ支援している。子どもが地域で安心して過ごせる居場所の全小学校区への設置に取り組む。子どもを安心して生み育てることのできる社会づくりにしっかり取り組み少子化対策につなげていく。

知事

保育士試験におけるアプローチを！

県内保育所から、一般の人材会社を通して保育士を採用する場合の紹介手数料負担が大きいと相談があった。東京都が実施するように、埼玉県でも試験会場でのアプローチを強化し、県の紹介で県内保育所へ就職するルート強化すべきでは。

この

全国保育士養成協議会と調整していく

保育士試験は県内保育所への就職をアピールする貴重な機会である。保育士確保は重要な課題と捉え、試験会場における効果的な働き掛けの方法を、今後全国保育士養成協議会と調整していく。

福祉部長

保育士資格保有者として子育て環境の改善に全力で取り組みます！

児童虐待について

● 児童虐待ゼロに向けた「産前産後の母親と子どもを守る」決意を！



この

過去3年間の児童虐待死の4件中3件は産まれて間もない0歳児。知事に児童虐待ゼロへの決意と「産前産後の母親と子どもを守る」という強い決意を。



知事

子どもは社会の宝、児童虐待防止に全力で取り組んでいく

児童相談所の職員を大幅に増員し、本年3月には一時保護所を付設した熊谷児童相談所を、令和7年度には朝霞市内に新たな児童相談所を開所する。警察との連携システムを導入し、児童相談所と警察が詳細情報を共有している。「埼玉県児童虐待防止対策協議会」を立ち上げ、県全体で取り組んでいる。また産前産後期については「にんしんSOS埼玉※1相談事業」や「埼玉版ネウボラ推進事業※2」に取り組んでいる。子どもは社会の宝、尊い命が失われることがないよう児童虐待防止に全力で取り組んでいく。

● 産前産後ケアの充実を！



この

令和2年9月定例会一般質問で「産後うつケア推進事業」及び「産後検診推進事業」について、執行率が40～50%前後、毎年予算の半分以上が使われていない実態を指摘した。

「産後検診の契約事務を県が代行するなど、市町村の意見を聞きながら事務負担の軽減につながる見直しを行う」との答弁があったが、その結果どの程度事業が広がったか。



保険医療部長

「産後うつケア推進事業」は研修を通じて普及啓発してきた

「産後健診事業」は全市町村で実施している

「産後うつケア推進事業」は、「EPDS※」等を行い、令和4年度は16市町で実施、市町村職員等に研修を通じて普及啓発してきた。「産後健診事業」は、県が一括契約し令和5年度には全市町村で実施されている。



この

虐待予防強化事業は、産婦人科、医療機関、助産所を対象とし、養育支援を行う形式だが、実際には医療機関を受診せずに出産に至ったケース、また産後の突発的な虐待例が多い。

医療機関を受診していない妊婦に対する支援、また、ハイリスクの母親だけではなくいわゆる普通の母親を対象とした産前産後ケアを進めるべきだと考える。



保険医療部長

未受診妊婦を産科医療機関や市町村につなぎ継続的な支援につなげている

「にんしんSOS埼玉」PRのためのSNSを開始。今年度から「出産・子育て応援事業」が始まり、全市町村で「妊娠届出時」「出生届出後」の面談に加え、妊娠8か月頃にアンケートを実施し、少なくとも3回状態を把握する機会を持つようになった。また、新生児訪問や乳児家庭全戸訪問を行っている。今後も市町村と連携して取組を進める。

子ども医療費受給者証・障害者手帳のカード化について

● ペーパーレス・DX時代に合わせてカード化を！



この

子ども医療費の現物給付を受けるには医療機関の窓口で「子ども医療費受給者証」の提示が必要。現状は、紙の受給者証を長い場合は18年間持ち続けることになりボロボロになる。カード化している自治体もある。県として紙とカードの両方を示し、市町村が選択しやすいようにすべきでは。



保険医療部長

受給者証の参考様式にカード型に関する記載の併記等を検討する

持ち運びが容易なカード型は、利便性から一部市町で導入されている。これらの市町に利点や課題を確認し、受給者証の参考様式にカード型に関する記載の併記を検討する。



この

障害者手帳もカード化を！



福祉部長

政令市・中核市とも協議検討していく

国は健康保険証をマイナ保険証に一体化する方針で、今後、障害者手帳も一体化が検討されていく可能性がある。国の動向を注視しつつ、政令市・中核市とも協議しながら検討していく。

トイレにおけるベビーキープ・ベビーチェアの二重ロックについて

● トイレの鍵を開けられないよう対策を！



この

公共施設のトイレのベビーキープ・ベビーチェアに子どもを座らせると、手が届きトイレの鍵を開けてしまう。

ベビーキープ・ベビーチェアの設置に合わせて、トイレの二重ロックを進められないか。県庁自身から率先して二重ロックを設置できないか。



総務部長

二重ロック設置に取り組む

県庁の一階のトイレから改善してしていく。



この

登壇後、多数のメディアに掲載！



総務部長

反響もたくさんいただきました！

子どもにやられた1人です！

笑顔で解除された！



この

子どもにやられた1人です！

笑顔で解除された！



総務部長

反響もたくさんいただきました！

子どもにやられた1人です！

笑顔で解除された！



この

子どもにやられた1人です！

笑顔で解除された！



総務部長

反響もたくさんいただきました！

子どもにやられた1人です！

笑顔で解除された！

小児の高次脳機能障害※について

● 県内に小児の高次脳機能障害の支援拠点を！



この

県に支援拠点がいないため、高次脳機能障害者及び小児は神奈川県や千葉県、の県リハビリテーションセンターの支援を受けている。埼玉県総合リハビリテーションセンターの中に小児科を作り支援拠点とするか、小児医療センター内に支援拠点を作り、当事者の意見を聞いて実態把握をした上で、必要な施策を行うべきだ。



福祉部長

研修会、意見交換の実施、周知啓発に努める

身近な地域で支援を受けられるよう、相談事業の推進や関係機関の人材育成等を位置付けた次期障害者支援計画を策定中。医師や当事者家族を講師とした研修会を実施予定。当事者の方々の実態把握のため、意見交換の機会を設けたい。また関係者への周知啓発に努める。



保険医療部長

支援体制構築に向け福祉部と協力していく

対応可能な医療機関に広く協力を呼び掛けるなど、支援体制構築に向け福祉部と協力していく。

障害者差別解消法に基づく基本方針の改定に伴う合理的配慮の義務化について

● 合理的配慮の義務化を実現していくための補助金の検討を！



この

都道府県レベルでは段差解消のスロープや手すり、点字メニューや筆談ボード等の補助金を設けている。また、静岡県では普及啓発をする際の補助金を設けている。埼玉県でも、同様の補助金を検討できないか。



福祉部長

提供の実態や負担、取組例も参考に研究していく

関係者等へ説明会の実施やハンドブックの配布などで理解の促進に努めている。補助金については、事業所における実態や他県の取組例も参考に研究していく。

令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による被害について

● 内水ポンプの運用等について市町村との連携を！



この

令和5年の大雨で一部市町村において河川が危険水位に達したとして、内水ポンプを停止したそうだが、実際には達していなかった。

内水ポンプの運用を含め、内水被害の軽減に向けて、河川管理者である県と市町村との連携体制を全県を通して整えるべきではないか。



県土整備部長

全内水ポンプの運転調整ルールを点検する

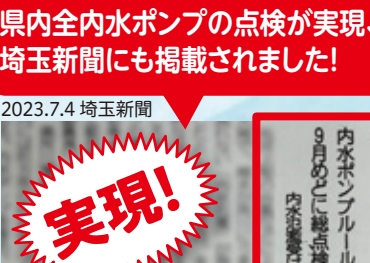
市町村等の連絡調整会議を通じて、適切な運用がされるよう連携強化を図っていく。



内水ポンプ(越谷市)

※BCP

災害時に特定の重要業務の中断を阻止、事業活動中断時に目標復旧時間内に重要機能を再開し、業務中断に伴う顧客取引の競合他社への流出、マーケットシェア低下、企業評価低下から企業を守る戦略。



県内全内水ポンプの点検が実現、埼玉新聞にも掲載されました！

2023.7.4 埼玉新聞

実現！

● 高齢者施設等の福祉施設への支援を！



この

茨城県では高齢者施設や保育士施設、障がい者施設に対する復旧費用の一部補助事業として約1億1500万円を計上した。これらの福祉施設は命に直結する施設でもあることから、埼玉県でも事前に対策をする必要があるのでは。



福祉部長

情報提供等、国と連携し復旧を支援していく

BCP※の策定や災害リスク想定した避難訓練の実施が重要。各施設への指導や、BCPの策定が遅れている施設にアドバイザーを派遣する取組を始めている。実際に施設が被災した際は、補助制度などの適用について情報提供を行うなど、国と連携して復旧を支援していく。

税外未収債権の対策強化について

● 部局横断的な組織体制を整え縮減につながる事前対策を！



この

令和4年度決算特別委員会において「税外未収債権について縮減に努めること」を提言した。現状や県の整理方針を公開するとともに、徴収強化月間、コールセンターの設置等を進めていく必要があるのでは。



企画財政部長

「税外債権管理 推進連絡会議」を設置した。今後HPで発信する。

取組方針を策定し、債権管理マニュアルの整備や研修等を行った結果、収入未済額は着実に減少している。新たに「埼玉県 税外債権管理 推進連絡会議」を設置した。今後、現状等をHPで発信する。

「知事への提案」の充実について

● 知事への提案専用BOXの設置場所の拡大！対応状況の公開改善を！



この

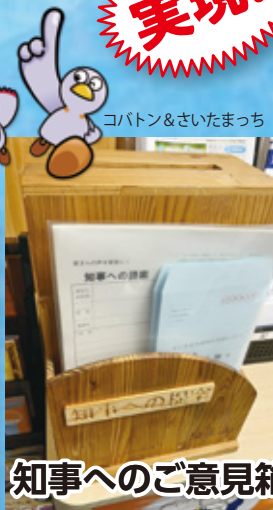
知事への提案専用BOXの設置場所を、駅・市町村役場や公共施設等に拡大できないか。年間数千件の提案数に対し、対応状況の公表が年12件と少ない。対応の見える化を図り、より双方向の制度を目指すべきでは。



県民生活部長

窓口での受付を改めて周知する。対応状況は公表の仕方を工夫する

提案は9割が電子メールによるため、駅等への専用BOXの設置は費用対効果の面で課題がある。紙での提案は、市町村役場や公民館等の窓口でも受け付けているため、窓口の利用について改めて周知する。また、対応の公開は公表の仕方を工夫し、分野や傾向が見える化することで、ご意見をより県政に反映できるよう取り組んでいく。



知事へのご意見箱